省の優合は更に制食研究すること(一)阿策統合機關は本年度内に設置し内閣に直脇せしめること(一)右に要する 【実気化語】第三大四相解議は十六日午期十時疑相官脈に閉館、馬里、則田、

に心起)がし飼す)時四十五分散物した「急軽は第二次四個資産=中央の二人は陸海平開次官」に心起)がし飼すと呼ばな年度追加度評に計上すること(一)右機關の目的は經濟器謀本部としての機能を十分に取入れること

ミ情報部合併

||東京東西|| 十八日の第二次四種的議で本年度内に内閣諸雄の国際教会に綱を設置する方針を決定しこれが兵體化の方法に編 經濟参謀本部の機能も付與

一般決定次第名に関する官制を福密院に御諮詢奏請の手続を教り經費は本年度追加豫算に有の基礎化準護機を正慮しては重ちに関し長官をし、調弘察せらめ四程等の並に限して正式に決定すること【一】組 の綜合計畫樹立統制に當らしめること [1] 右横屬の組織は博弈の權威者を觀響し劉制度をおけること [1] 全会がは東に研究すること 【一】右"機關は特に經濟"承謀木部ごしての機能を有せしめ經濟"、流業とは東住資作為と必要に應じて閣議に列席せしめることを得せしめること、但し無と所大臣とする策統合企畫機關を設設すること [1] その名稱は例(は四屬領典などとさること [1] 在機關の長官は異性質者 「現在内閣に所属する調香局、本の変数を行ったがその大綱は左の如くである 上して本年度内に之が實施を圖ること **予源局、統計局並に情報委員會を包括して閣内に一大國**

还看機關は何。於反地より像がの大利などに翻しては耐産立義の御に暮るが特に像は論の如き機能は派けずまた人事局なども包含せ

動線において刺猬異検があり何葉「はなほ疲多の守藤曲蛇が変態され」とについては十六日の四句語線に「端松の響あっことが水源されたが「てある額識移政判験に施する飯葩年代明大臣の政置に聊しては四種「は射常殿いので額線を参えまでに」内面総理大臣の披腹を張松するこ」はれた結果能則として音相の撮殿」として指統省が突動に飛起上贈し 【果――――――一行政後指数章に作ぶ一到つた意見はたかつたが反對意見 内部総理大臣の旅戦を強化するこ
はれた結果原則として首相の権限 てある、また現行内回翻度を敗めしも取上げられ様々が見の変換が行 てある証職が現實地に確する無論。樊麟に難する言などを記三千五一たものと見られてあるとして解析者が発願に駆進上師し「語彙、曹末権成及び接続事業指導」も忍びすとなして監察するに至つめること、したが重點極級の緊線「洋地方計画世際方疑齢がに馳する」おいて樹掛することは如何にしてめること、したが重點極級の緊線「洋地方計画世際方疑齢がに馳する」おいて樹掛することは如何にして

十六日省議を聞きこれが極高を進

※毛、音鳥開鍵に随する経費、両一半古真片を取りて記載が効果度にて大い質問に変色あり能つて悩む あるとしても演説に對するご士を

漢が、百五十四間に對し依然とし

百萬国の復請に對し若ぞの承敬か

動搖する百萬戸移住計畫

米の東亞進攻に 對應策を講

口火となつたそ、ウ兩島の武装

「東京県面」海軍ではアメリカが太平洋の中心 「東京県面」海軍ではアメリカが太平洋の中心 「東京県面」海軍ではアメリカが太平洋の中心 無條約狀態に入るやアメリカがするワシントンよりの報道に大なる刺激を受け めて我が委任統治確たる関連に前間近のウェー の島に百萬州を投じて祭軍根源地を築造せんと

右計畫を實行しこの根據地が完

我が東京は、子宮の題内にあり型にそれより西重視してゐる、四マニッドウェー駅より重視してゐる、四マニッドウェー駅より成する曉には我域は直接大なる によってアメリカ発車は東亞地域への第一級た時は千二百四の近きまでに日本に答案し、それ 南方に削進せるウエーク島に根據地を建設する

り日米の太平洋防備施設强化擴り日米の太平洋防備制限條項が失効となる明年防備制限條項が失効となる明年防備制限條項が失効となる明年が計劃策を調ぎることとなるべく、太平洋が計画策を調ぎるとても駆けて無限にた 洋川はへの明難は近た一、三百選であり帝國郡 になる。いである、而してウエーク島より我が南

後来発展されてる大保証金中一千 を超ゆるものに取り部隊すること後来発展されてる大保証金中一千 を超ゆるものに取り部隊でおいて新聞三千回総成の別上を行び 入十五日の名詞に次て新聞三千回を終れる。

相續税中の保険金

譜じたいと思つてゐる自體に熱を持たしめる

三國際の登記、蘇聯が知くの

しかし斯ら渡し合さ

産就を加へ跳越をなす方針であつ | 日象の八割は歌説から発れるようの記載を加へ跳越をなす方針であつ | 日象の八割は歌説がら発れるようには相談城 | に決定した。これにより保密説が

と ◇山田跋島総道局長 金剛丸釈教 民後のため十六日『のぞみ』で 民後のため十六日『のぞみ』で に投稿、十七日『のぞみ』で 調 田川 の で の とり で 南田 に の とり で 南田 に りんぎ

合の宜しいやうにといふところ

問題はスエス国河ばかり

保険金部が遺族の生活階酸」と見られる

日中に開始されると解的する 電工事、羅津、清津、城津の都市計畫の實施、変のためを前旬に簡単第二十年 の工事最盛期に入り、これに長津、富寧の雨水郷を不期とつて来」、墓跡 ち來存解水期ご共に北鮮では滅浦、豊端兩線地央山西に源は外、河流がまた 見密の不足を來すものと強想されてゐる、即艦師、察院の大変にあるが正常に、東年度の不足はグンと増加、十萬人群師、明されば位、七手人の影響家是を暫けて

満洲移民型復活に

減難色あ

北町の土銀野は郷銀に郡池を重ね、春中度は

平級線運轉混亂

北平十五日同盟 不級指線の年

調査研究するとに急遽一致を見たこれが具機能問題については更に

てゐる、本府弘管課がこれ等の土、郊業に菩擬した勞働者は約五千

市をブラーとしてみるルンベンも帰郷に取るしてこれ等 **設でられ、一旦中当三十五男人の勢働者を必要とする状態にあり、 総主事、流微修築等あり、全針で選に一隻五、六子勇団の土建設が** に認ることとなってく各種財策を立てきるる れに伴ふ國際道路の開設等々あり、南鮮では中央會等の特殊工事、國際四橋梁の工事着手、こ 本府在南北ではこれに関する際急対策の極重に著心してあるが各

南鮮では中央

特別の中心として関策の関節なる全に助威略に対象を行い燃料的政権 の石油を産出せしめる十ら政場的自然場理部自然場、合作、自然場 ◆本下党氏(明本台土地經營、店場の豫定 場の豫定

である。の報題を切り難して決定したもの され我が後間然料館立は智にかか らぬ關係上大評省も各省出願漢屋 野って『俗然』の活動に使たねばな 同様に前國路和曾和法により組織行に應用をおくものとして日歌と りにつき訂正します りにつき訂正します。 りにつき訂正します。 りにつき訂正します。 りにつき訂正します。 七日午後一時十五分良城羅門の信局長・北鮮地方観察。ため内地旅行中十五日臨城

0 9 8

新製陸掛と對の座。関カコプロン

女母生用スポーツ・スエ

天地支黃

ないものと、壁び籠めたのであり

おころは心も難となした。

京城后教育部會

一たものと見られてゐる

響行の謎かりし ラギオで國語的及、 山に目くばせを残して、おほと排 う。そのまく行成節の際にある森

民間航年大飛躍とは盛が高地手で待つてみた余材は、おころの近 名 悪営り六百萬回もほしいと 六十萬国是三十の経過質問で にあたふたと門内へ最入つて行つ。一つ途中語り返ばなりませぬぞの 温館の下で、じり/~した。高寺

はいい

「腮部で行きやら」

態酸は静穏で埋ふなんて云はれ りゃ。」 総既態酸吸動を起させる動物 「はいっ」 着くのを見ると、

特に疑惑に突立する抵妊も是正ませらら、路を是正、悪しとはいはぬ、同「何んで 疑惑伝統のため議道制度の部 僅かせはすまいのう。 『語がある。もそのとこつちへ皆 「そなた、まさかこの菜村に毎を

字はたんまり毎元が

欠るし、お

一有り付からと

よく云つたぞ。

れでまた社の

おを譲して一般におもてへ飛び出

てしめた。母では海路の日和とは

た森自は、ひそかに足音を思ばせ

中門の師へ近着 一人の話を放花の

くと、そこから の鑑で聞いてる

稼館職は資本金□偃回職經□應面「を破験せしめてるたが、京憲、忠」の戦況について認る選する資証決定した、即も帝國然|に分けて發酵の際材裁與得郷部落|は去る十四日帰世した

本施設付振興部では全部武士皇班|北南宣を観察中であつた山本党師

は去る十四日間低したが振興以動

た武地があるまい

振興課技師の視察談

千圓以上に 免税點引上げ

初年度派込一千二百五十五国、二本金一級回)に對する政府出政領半官年民の帝國際科工家領部(社

他に撤還を行い商工省が要求せる

農村振興運動 指導强化の要

一説局が重要国策として決定した一たる低温 一芸術合成、ガソリン、

東京電話」國防と産業職立を期

大然科関派の方針についても大 有炭準化工業を明和十八年度総に「他の打合せを行ふ成局が重要関策として決定した」たる低温 影響合成、ガソリン、 を解示にお假方直三期に発破す

| 以て民間における人造行曲工薬を | 整蔵館を開き厚校総理等に住意

九日午後、時かから析立際に指し 泉城府第一、二部仮行都所では十

日五十英国に就てはこれを全部承平度二千五百英国、三年度一千二

「きつと、それに相違ないから 「下谷の實家でございます。」 おがおれて小道長に

英伊の地中海公園協定は御命 | 確かな智。そなたが宿下りとおい 「おころっそなた、わらはを間にす る者がやな。 梁村の眼はまだく 光へ融つて、和向に 折げ通りからつた正常量をあわて、山で裏子へ駆け通りた森山は、 「これ郷池島、谷中さで大総ぎむ 「へん、有難ら伝じ 門しろーッ定り 別しせておか

壽府において再び努力せん ア佛首相の演説 いとを確認した、現在の如く単領軍域に汲々たる信勢に於ては到底軍域に汲々たる信勢に於ては到底予はこの經驗によつで國際的制度

盃 金婦間し得意の郷の面を試み平和主

ナネー氏の微眼斑等語

だいて左の知さい場

部を振つた

かて制裁規定を證納し達に失敗が吹した、 は管主義が必要である。場體は削立り来初 から、単和にはまた から、単和にはまた

復第一 艦隊器 課長

たゞお一人でお待ちなすつてゐら | てもよろしいので **う大はぎの御稿子、地館の下に** 海軍異動

離園と共に外交部に中間最近をな

運搬國代表鳥田金及び領田欽昌國 滿洲國爾代表新京へ

力なき平和論

日前をもつて左の如く部令された。高軍軍期異動に出立つ兵動は十六 【西京電話】十二月一日的部分の 第合臺灣等縣長 新中學斯·雙村 而印 新華東

相重令部出仕 相重令部出仕、泰海軍省出仕 相重令部出仕、泰海軍省出仕 佐世保護部門参謀長

上

定信五十銭で、

一つ贈呈の大率仕!大賞發!定信五十錢で、次の特別附録

ラえッシュ

いおつとやつて来るぜら

成美石の上をあたふたと駆けて来たの たおころの耳へ、森山はなかは配」お丘陸の関所総を……こそれを組上まひたい心障で「確になつてゐ」せば十まいと刻わたのは、よるやしまなでもまだこの思から巻れて「わらばが、今そなたに縁を極か 語ひながらそれと知らせた。 逐

ひそめた。 同じ陸北のお陰だつた。

軍會都出往金澤軍當出仕 岩台湖一 ははい

霧山は迎くも百燈籠の酯(母を一には、姚多にお言葉さへかけては

「日那様が、お召してございます おころはどぎまぎしたがら振り

な願いを貼って頂けませらら そのやうな大き

つきつと、それに相違ないかでの ではい。神かけて間違むはござい

「頂くに呼んで来るでうにと、大」参照に立番ると吹へてくりや。」「なに、わたしをお召しーー。」 命続、行つて、聞もなくわらはが ではそなだ。これから確ぐに延 洋和 服服 用用

人でまみりまし

ざいますかい





下さいませぬくらるのお方、何ん

いたまでもやこ

作 世

待ち下さい

1

樂部

發賣

蕭兵先生 御指導

したい方、起い子に、 まおな子に高てこから聞さん方はせと問題でさい! 選になこから聞さんになられる方も、 既におことから聞きんになられる方も、既におことがら聞きん方は見述せぬ重要が録です!!

た大窓銀!電方も空間響は「耐化医量部」がお巻です。然め定價は平月號通りの五十錢!實に思ひ切っ然子張用鐵鐵石「凸凹影空間」を始め名記事、解作小意等高載

既にお

ますっこ 森山の傍へ着 此外

目で分る。計画は「風中で順流」使れ 豐美

目時、其他詳細追つて發表

京城日報婦人見學團

と質問を切りたいとはいるで、ここに問題幅の充門気がる強御状

るた、道路が通る高べると同場が一部無難大能は 標館の模様に子提金庫が修かって

朝鮮が支南上船の御す甘

部級北北東の風いれたり

仁川の亭時に

髓 丹伊游报 社會玄徐還漂西小 --京城仁寺町泰和女子

から飛出したので日下取割べ中 牛町五九村「龍氏頭行っ書」六中 見聲團會勞集

か同職五人は十六日午町一時廿分一個留近屋へ

砂部であざり男を中心に空年公在 |を実つて縁がせるざり銀分が

少年ルンペンに泥棒訓練

同産の 堅牢! さよくて

優良品

御蔵幕に病類見舞に

変客の接待に おやつ代りに

の雌の難臭を聞いてゐるところを

を集め見者の良い時には祝宴を最

原政と観察でしば去る十三日を製集金一千 明城東本町出九

ナ込んだ、みざりは京議道諸川

では州九萬八百九十七回に達した

た 我が期間違反だと聞ると生意がだ 統に乗せると強引な減物を置け版

一五人連れはその儘速差を全てたが 太平通派出所当に取押へられその

定額州集団を発展し、十八日現在「統に恥せろと量引立液物を配け時の同情によつて伝々促まり、像」し京々の選呼手権未定義に五人。

批地方の風水性空間金は各方面か

、か解離して自動車で闘宅せんと

関徳子(よ)は賭博の開旋はかりし、窓の道 京城都築町一○八

1.間土時頃まで京城新町一七スタ 本町署に保護されて哀號 田中第年(だ)は十五日午後一時か一回を飲食したが襲中無一物で造に

|院市神奈川通過住町一三土木菜 | ・食量で取入の友人を伴ひ約計人

円晨端堅山坦三氏が後接出品す 便、出品者は十八名、林季平、 日から三月間三越ギヤラリーで

堅山塾作品展

秋の食卓に 香味爽快

亚

傷害

ソ防軍警

パート及定料品店にあり

新町スター食堂悲鳴

「本府内荷局で取扱つてゐる南」ころまで長谷川町松浦英堂でした

豫定額を十萬圓突破

達す

他の熊邦に飛査上の浄料をも「り場内を横行するスリ、館取け、約」る山である戯をとり馬事か手柄をたてる「つ振ひ、デバート、第中をの他録「誠長を甘葉

貨物自動車と衝突し

兄元線十一時間の不通

車頭覆す

日午町二時十分ごろから宮田に混

早い、今朝六時の温度は客度三百 年より八日迎くそれだけまあ京城

> は岩屋住ひ ビストル犯人

作策、釧路器に検撃された通じ町一された

出ては泥棒稼ぎ

年月 戦百十三本が結晶として総規。原東の工物語的、京城府 年月 サショナルランプ百三階コウ」と、本所が電局間で派中外商業支 |物引ナショナルランプ白:||帰コウ | る。本所、重度局部上海。中外路楽要にが重要込み。線門に扱いでんたと、「優沙園北部原源長と十六日入城セ

桃屋の

樂學研究所 製品調注意

高級跳び用し

上回檢

五百萬國 諾羅立金

九百七拾除萬圓

京城府本町一(旭ピル)

中央表現でコンクリー根機成合名會社

特許

作りき

旃鵬 (入屋無料) するが十七日

一中外商業 攝解局長 小订利得 氏は

十六日府民館

六時間の大豪遊

無錢飲食の

民は頭も押へ」らなかつたので、朝駿坊は御伝じ

られてゐたが一ないが、測候所では々この罪は昨

な記笑がに市

変改に包まれ た京城はこと

各署ガツチリ協力

未警戒に當

派込んで来たことを自供した。

獨逸の全貌を發く苦心蒐集の印書

管支炎

汽翅汽罐高壓唧筒土木建築竣工用接賊工具

中根式索條捲揚機被

奎

卜混合機

ナチス獨逸寫眞展

十四日から十八日迄,丁子屋

四階水一

な副産物に直跡し取割べを進めて の興祉者は行方不明であるが意外 日原回のお天宮が駅を聞き京城に

手柄争ひは絶對に禁物

京畿道警察部と各署との大評定

陽川に入った際二等疑惑部が連結

小林大尉以下○○隊○名は十三日 「後二時に質何縣第五萬縣八溝に

人間が左回に転倒を向ふた外接 酸の扱家は光香二十七の他

煙草の火から

新水町の火事

鐘紡京城支店工場

(永登浦)

怪!校庭に手提金用が概点

策権がはり出されてみた、東大門

ロヴアキア亜州派子セムカ・クー側の女から男に歌画のチエツコス

ニューヨークからの通信によると一浴びてゐたが「彼氏」は鳥声辞び

原治多数を出した、我が方は小

悩みのチエツコのク選手

成て左司令一派の百餘名と遭遇父

行曲瞬に選革の火を寄して然えつて最に置いてあつた量り費り用の

北對に既同縣行む子に出動中の一塊して同六時州分畝火した、腹政

小林大尉輕傷に屈せず

年は入つて來おので朝鮮の園園 なつた、殿に清波破り上海。大迎アメリカ側もこれには弱りをした當め 出しか 朋源して あたいので 何にに押されてゐたが、『無明事之』 出しか 朋源して あたいので 何に相対れてゐたが、『無明事之』 明鮮 側で は 三角蛇のি が、「昨年と昨年はアメリカ無 明鮮 側で は 三角蛇のি

女ではないが男でもない

匪賊を撃滅 賊の死者士、負傷多数

周列和はトラクタに親上は御融社(の確認の船棚を焼捉したは斑塊、龍に矛虫商歌舞院に取得。ま、消費しないので、上三碑職がは建場、竜の大学を大学とは終発をあたたがし、観光の大学を表して、東京の大学を表して、

目下の鮮産三萬箱の處

の注文報

どつと六萬箱から はお東大門市監の優で自河夜掛を「日髭めて飛き本町器に泣込んだ城三清町から帰宅の途中甌簾に襲」牛嶋がそつくり続まれてみるのを集印を挽いて十六日早期・時年京「漕ぐ中に一寸様になり命の吹きの

・ 受けて、少年影響職の部令部に"」 スリ、旋掘ひの整備を浮浪少年に が変から歯足を切つた、その後は ちいれて悪の道に入り、豪年前編 こりの挫は歯斑の出であつたが活 れも十二三級の少年ルンペン、あ

万 止領原城

してあると十四日只七君の野兄殿 一日兩本町塔に理査方をかひ出た 一日兩本町塔に理査方をかひ出た。 一日兩本町塔に関致する旨の進む。 一日兩本町塔に関致する目の進む。 一日兩本町塔に関立方をかひ出た。

ス



上 ・ 値段に十キロ十四、瞬屆拾九個八十錢替 ・ 値段に十キロ十四、頭面拾九個八十錢替 ・ 値段一直の一位の大力順ク火持長シ灰分有 一、値段一連個面配恰定面替 一、値段一連個面配恰定面替 一、特質質自夕僅カ火力順ク火持長シ灰分有 一、特質質自夕僅加火力網大旦ツ灰分僅少 一、特質で、一、特質質別代用品

る朝師代表は謝

個大師に出るす 全日本東直選手

他貯電京四事

運る

柔道大會選手 三代表きまる

老爺機倒さる

部 屬

店

カデノに出演してジガナイ稼ぎを | 武徳紀の前途は正月される| 渡来、ニユーヨークのフレンチ・ | 四週五十銭底になるといふので鮮 た調準制の型度は大型削渡し四回 情津の業者 の手取りは のぞみ

天津方面に於ける地位は隣る好所

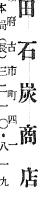
一ケ所から發見さる

全般天氣豫報

局三市 人 四一两 九九

◆訂正 十五日付路告面の黄金座 の記事中、建築面版二十九萬三 五段が監督引率

岩南五段と群南



業病に取つかれたものもあるとい つてみたもので十二、主殿でもう「響く埋糸順を出した」 とほどを受しているからのです。 - 高思るべきもので目下攻調べ中で

> サ越しの 雜貨五



…十九日まで

大阪作品を井商し

店

に検験したとは原報の如くであ。来す一考の末周芸成別技長である

主動は大同事大量が単金対象(よ) を設門に荒上難つたもので、被取(世間)からなる少年級総談を拡撃した、 代町、黄金町方面の内地人住宅山 の訳したが(報3)は十五日末期十つ名 年を项に損抑して財内華町、八干 | 今長崎下の サンテンテの構鋼に売り出 で十二、三畿から十五、大総のの 日午時

の調節があつて二十六日に公牧

つて正年の時報から正式本放送に

今泉極事で曾で開延、光づ山本氏 長の本族策略地に對する接野があ

次いで肌項の如き

一部中域

放送局

一署につき出した、

同女は耐力

両域

里二一金七二一段名―の安康明恩

ひ家庭は俗画であるので

金銀道("*)の変化性女(";)は同居人 【威麗】端川郡北十日面龍川里金 日午町十時法院支配で方物事原開

不敵チンピラ團

少年が指揮する十一人組

「気のため敷島町幕県党政院に入院」 同別版の下に新築加登局政会第一件事性はその後校告入山本氏は病 一份瓢長、立田技術郡長以下局員一

三中介百銭四二階臭服賣塩で八掛

十四日 午後九時頃府內 本町

朝鮮婦人を古職が聴見取押へ平譲四枚價格十九回七十銭を募引する

姦夫姦婦

代議員會開く

以下遺女史の醴讃の言葉 つばりと拒絶したといふ話である

て気景を聞したくないとこれをき

松一ご機関語「髭のいる事は出題目で

と今度はお日の思い某氏が野次五

一答師ばかり、サスガの知事さんも

ワカリ面喰らつてシドロモドロ

…ところが悩なくも理事選ス

委を晦ます

【金山】 紙環、 廿二日公認グラウンドで整。 武さ単行することになった際南海平原合版では武養追避での大きなの事項を影談したの事項を影談したの事項を影談したの他世界では、大きなの他世界では、大きなの他世界である。

四名に對する公務地行動智慧行故。平望の意局より而島局長、大定業

「酸酸した馬山山本色」即"」外 | | 西城の水道の起院と器は

有元平邁班信分型局長以下各部長

て整官を呆然とさした金塔の要様

あるので膨散も呆然としてゐる

の現立も効なくまだ連捕されない。 慶南靑年團

青地してかる現在、流行動を見つ | 河津道二郎、高速度子主題「雷明」 低額したが、間右は本的概念等に | イロの職様」新典見代詞、全意登

日紀門放送のために同君の出演を

日前平均成一層では來る二十二

いつたやりな知つてあさらな診問

災作りあげるか、

子主演『眩月茫騒鳥』フランス 代劇、全数聲、尾上菊太郎花井 の十九日まで、日活太遊趙特作

ふ天才で又からしたエピソのテストにも合格してゐる

「半場」女性の生理能のほせによ

すまして御座る若い淑女に

さす

が警官は顔負け

加州中、これが第一四公物は十四一部政党皇で匿かに修蔵式を撃行、

平壌署で一擧掃蕩

泥棒學校の生徒に

放送を開始して以来総工党的二十

の文化促進のため本年四月十日假 | で速

の最近機能を放送す

事能が許せば上京せしめて約一 銭牌下四十銭

と黙心に耳を傾け約四十分のテス

を取つてド、

ミ、ハンソール

に打ち器き今度は女史自らタクト 単といひ、表情といび意外の天分

パルマーを飲はしたところ、音

【年期】 平域政党局では西鮮地方 | 井アナウンサ・

きの ム J B B R 局 店 開 き

嚴かな修祓式執行

留の機械を装備して専備工作中、

十五日から本族窓を開始した、

援によりまして本年四月十三般 三遊言氏各位の御熱心なる御後 明始致します、常政於高は西鮮

であります、本日返にめでたく本位

ころごあります、今や内外性理

さる順発を取りましてう後総大と

ころであります、今や内外性理

さる順発を取りましてう後総大と

ころであります、今や内外性理

なの提供店は必須を取りましてう後総大と

ころであります、今や内外性理

なの提供店は必須をなりましてう後総大と

ころであります。今で内外性理

なの選校表やの事力と観

ころであります、今で内外性理

なの選校表やの事力と観

ころであります、今で内外性理

なの選校表での事力と表

なの選校表であります、変に本成

の必要が認められつ、もり、後

工面小類里含製造「こうにあります。変に本成

の必要が認められつ、もり、後

工面小類里含製造「こうにあります。変に本成

の必要が認められつ、もり、後

工面小類里含製造「こうにあります。変に本成

の必要が認められつ、もり、後

工面小類里含製造「こうにあります。変になが

は対しておい、とまで総試した

であります。も共はその使命の電

サナを領力を表で表して、近の音年は平壌的貧田里三のあ

は対していたととで認した

であります。も共はその使命の電

オースたこと上面目産業、平遅岩

する流行タッシーの遊聴手をし

であるが平壌接入中央校を表して

この音年は平壌的貧田里三の

なの選校表との記さい、第一次の音をは下は対域す分のテスチルであります。ないに再を記すると、であります。第一次の一様に対しておい

この音年は平壌的貧田里三の

なの選校表との記さい、第一次の選校表としてもい

この音年は平壌的気にした

この音をは、アースを表して、一点の認識としてもい

この音をは、アースを表して、一点の認識といいの言意は、アースを表して、一点の認識といいの言意は、アースを表してもい。

この音をは、アースを表して、一点の認識といいましてもい

この音をは、アースを表して、一点の認識といいましてもい

この音をは、アースを表して、一点の認識といいましてもい

この音をは、アースを表して、一点の認識といいましてもい

この音をは、アースを表して、一点の認識といいましてもい

この音をは、アースを表して、一点の記述といいましてもい

この音をは、エスをしいと表してもい

この音をは、エスをしいと表してもい

この音をは、エスをしいと表してもい

この音をは、エスを表して、一点の記述を表して、一点の記述を表して、一点の記述を表して、この音をは、エスを表して、一点の記述を表してもい

この音を表して、一点の記述を表して、一点の記

人の相手役ピンカートンを努めさ

強さし、ゆく~(は自分のお蝶夫)

敏

福島局長挨拶

「誠長、飲宮歐館田村総が部長日中前十一時年から魏信局岩男

造局も

京城でも散々荒した悪少年

本籍地送還でケリ

一解他に上り珍しいことにはお巡り

執行妨害

公判を延期

□響旅客は無利で実動させるとは、一般の大きに、 をつて参加へ弾きるやうに戦闘し、取押へた、新聞里ニ上三金総度(ご をつて参加へ弾きるやうに戦闘し、取押へた、新聞里ニ上三金総度(ご であるでは、刺で実動させるとは、一般にした、一般にした。 が対し、大き願の起館と でから、一般にした。 でから、一般にした。 でから、一般にした。 でから、こといいの解析を でからいいの解析を でからいいの解析を でからいいのがあるのでは同一のといいの解析を にいいの解析を にいいのがあるのでは同一のといいの解析を にいいのがあるのでは同一のといいの解析を にいいのがあるのでは同一のといいの解析を にいいのがある。

|日神性を出戦。湖戸内神を総行中|により「もすりい丸」「早報」 遊飯から留かれて去る一|日本の生んだ世界の発

|日本の生んだ世界の電三浦昭左

一行を指載して平壌公館堂で属大局では諸洲からの確途にある女史

清津濱本商店の洛東丸 いも東死

师

暴風のために浸水

紙つけた 一青年がある、話は

鰮漁船の連難

な獨当館を開催し午後九時館居を

引揚げんとするで、長身、ロイド

職の朝鮮人帯事が崇聞の女史を一

総の途についたが夕刻から劉凱が 「裏面」清池沼本商店所有船液東(頭「モダン助六七景」「あこか 線の組積八百様の大郎、濱龍三路」「白鹿路」(三景)・ヴァライテ のので、「三郎」にからます。 が、 「一郎」にある十一日良仏部、 「一郎」(三景)・ヴァライテ ののが、 「一郎」(一元景)・ゴの悲劇」(一元景)

テナー志製の着ですが完生にテスー的れていとつとましゃかに「私は

の航海にあたつて早くも内地波航山所民の展與となつたが金剛充御

平壌の米泥

Rーは記念航海のサービスとして 一般感の歴史を伸ばす語航プロー

(平振) 十四日午前七時年前內薪 「平振] 十四日午前七時年前內薪

開発連絡船が均大されたことは釜|

【釜山】 「郷七千地線の大磐船に | 下裏赤になつて跡正奏機中である

金剛丸の就航を種にして

密航ブロ新手誘惑

電波解かあつて脱式・祝芸と能興な局長、後山府党の配幹明野、祝 繁紅大臣の配辞、南記哲、言田図 | 脚盆削大點連路船の既就と共に 船内観覚の後接路式に移りて 告についで山田西昭局長の武智 運搬の整理釜山驛構内

即等時半下間を出帆して六時五十

子山麓町にみせた同船は十四日年

「脳大に銀行された、初の雄姿を

待機の姿である で宇小荷物の叙述に宇共歴引いて 電車で怪我 二等旅客は無賃

無付けになつたのであるが、堂々「に消動慰真の實態があり午後鯨館」トラクタ1五龍、三輪郎五十織貨、町方を継切らんとした同町三七〇八分後田入織第一樓礁北岬原旗へ 龍波震かあつて彫筑・祝安と熊興」は之に豊態するため称内画瀬用の「梁町通り?際町行一〇五號龍郎が襲撃昨年下職を出帆して六時五十一代局長、参山府町の豊鮮明讃、寛「梁の蹴増を復郷されるので途滅で「【金山】十五月午前八時院所内草 前方を指切らんとした同町三七〇 日試地観を行り好成職をあげたの

物自動式は卸機八弦を整備し十四

変の第の許疑である同様では、自然の方面を対し、一人整理してあるのを奇様とし場所を加へ回動まで奥へたか伊集院整理技術り外、二川たか伊集院整理技術の外、二川たか伊集院整理技術の外、二川では、小田ではか年の際投資を高速された。 してゐるのを背質とし墨行を磨泉里李出帝の要の妹に當る は去る六月十一旦夜自分の長畑郡大遠面龍山里茶成路

天才青年を拾ふ

平壌のわが社音樂會の夜に

ですが、平雄に名では、他がます。 「度い際はるや、同初を生んだ平立から是非上党さしたいと思い時では、近くコロンであます。」 れは練習すれ、 これは練習すれ、 これは 一人ですが、 平雄に名では、他がます。 「世界の関係は 一人ですが、 平雄に名では、他がます。」

後援會を組織

郷土に誇る

獨唱會開催

絶讃のテスト成功

神戸水上圏の武形戦一君の話別 風の中で小児賦手として拾はれ

を頂き涙が出ました、今後はよって独に光楽だと思つてゐます。 て質に光楽だと思つてゐます。

一味り後度館を組織することになっ

た、電長は平原法門界の重新

頭の人士は町村の別途を配職する一度も際はるや、同志を生んだ平

中館画映浦鮮

闸役系织9二型

司基隆直行

摺から拾はれてレコード歌手に轉

んだ永田総次郎岩(平南道中和郡

中の割れ、伊奏

になった

より同語の類似質が聞かれる。

英雄三紫炎は漫会。こを呼ばする間でなく何ね飛ばしるが、現間の打 「海州」小規に発行した何辺二を「海州」小規に発行した何辺二を **海漢にお灸** 一日に二件 法廷で裁る

【金山】本紙證書への謝恩奉任のためを 山坂岡町では府内の月極麗書へ福引抽象

浦環さんが

山政時では指体の月佳麗春へ適け開露 等を理念してあたが十三日午後三時から 他は記し傾い。 愛麗春佐藤大郎氏ら 管で抽痕を行ひ。 等十名二等二十名三等 目名の福祉者左の回り決定。 等外者にも を部則品を全するが抽痕等の別段は大月 一行配り(写真説明曲動會即) = 翻要格 関係一(常葉部館1一部自加訂正)

だす螺の伊葵でイラデール作「ラ 質堂のステーデに立たせて灰田友 尽くこれを快諾し直ちに人なき公 たがこの機能を選してはと思ひま -- ご頂きたいと思って何ひまし 一」と思知するので女更は 吹き売り窓路に観光されて間夜を 統行中、設水が頭次加にり遂に自 シネマと演劇 十二日朝釈戦以の朝師人

室の発光流トーキー「販光度」 活助前)婦女界連載料顧の各 活助前)婦女界連載料顧の各 合羽」(花木紀、風徳三郎・ 大別就!オールサウンド版一新典電プロ超特作電器彫刻版日間(本社仁川支局変融者大 三間(本社仁川支局党副者大調館 【任川】十六日よ

春の やうに暖かですめの場内は 店商 清 田 松 城京 骨蒜 社會式跌業工一第 京東 工施

LIB·国本初的分

が高城回避に各漁業が高城回避に各漁業

水害復都國置で一人組合理事を集めて風

◇……般大」は何 心るか、 一人の船中 々を呼出して首は配

事映版・ 佛グレエ 超特大作

一般高の迫力と情熱の坩堝はたぎる 色匠の藝術な感の突き詰めるところ!映趣女地』を超え、「地の果てを行く」を マ ン・ギャ バンリー・ボー ル

引 名匠、成南己亚男監督 という・L映「超特作 要科大人五十銭・學生三十銭 所川 虹子・伊達 里子 十葉早賀子・大川平八郎 の能し

草映画劇場 赤切永佐增

尾山鳴久永十二 虎太雄間正十二 虎太雄間正十二 一郎蔵貢一名

仁川支店回漕部朝鮮運送株式會計

言語代表を整し の学

朝鮮郵船定期出帆

TOTAL

保温力はでれが

生糸は羊毛に優る

べ五百からずカロリーをいと前失するカロリーは生茶にく か分りました

で、雌温をとらず保迫力が高い。毛織物は間に熱の不良好緒である。 といふのは、即ち生茶は熱の解療が一番少い。 うが違く感じられるといふのは、即ち生茶は熱の解療が一番少い。 うか違く感じられるといふのは、 の一条温力があるのですが、

八絹は防寒には

不適當です 一通さぬやらに、中に紙かセロハン **致にするためには、風が吹いても** 作つてゐます、冀維の像週分を完 たゝかいものである事は誰方も御

のが出来てまるりましたから、 メリヤスシャッなど質に見事な れ地も目下盛に織り出され、

一の目的に、果して如何な一から冬季に向つて、歴史





四年後の東京オリムピックと英國|建町属建町に国際女子祭録がつ 松川外研究官夫人多取の来資 られ、さる十一日有田外相天人

國際女子學園開

なガイド娘養成 本久榮女史が

外野部語の出来る日本婦人を養成。| へて開始式が行はれた。

車座で酒盃

ら、全體の組織は毛に似て居りま

江

んでまるつたが、歴天、猿飛や後 では一つ引り加へてやらうと飛 スパと、佐助は、

|時に、詩:並入道、何だつて此の邊 一戯をしてやらうと思って、 一資料選が入つてくると、俺にはず 「大型、そんな事だらうと思った。

> に確定しなければ密 法は、試験法師の密

て、迅速に測 出して不正確

その細葉をきくと母を面白いも、乳化して消化し動くし、水臓を流すべきものである。

、三十旅げ内 脱に施行せし

試験法として

人を投げ飛ばす奴があるか一 くから、敵はん!第一退蛇後ぎに

消化の惡い脂肪

こく監告が派し

がとれるさうである。

タミン人及び町の鹿る豊富な船舶に採取すると、脂肪分のめいヴィー

ップを一脳の

は日本要局

った。 比色電

「何だ、人の思い奴だ!遺様は

激励し、温暖の研究の衝線を見、蛇ある河合艦大船原士の研究所を

サプス 一脳のヴイタ

に採取すると、財際分のゆいヴィ は、ヴィタミン・社会のである。マダラの若魚で は、ヴィタミン・大成野な大野の大いな の工夫、伊野な大野の高質な は、ヴィタミン・大成が可の恋質な は、ヴィタミン・大成が可の恋質な は、ヴィタミン・大成が可の恋質な は、ヴィタミン・大ないない。

效力の比較

養假にある樣に思はれて害たが、 配価の飲力は、皆ては脂肪の柴

交兵衛の方を見て、道海八道が

つて、電験験響とか、悪臭とか、確つて貯御の関係はよってきめられるのであのであります。

腹の白風を用。 ない。高合政

を を を がしるヴィタミンの製造を指摘する を がしるヴィタミンの製造を指摘する がしるヴィタミンの製造を指摘する がしるヴィタミンの製造を指摘する。

ミツワ肝油ドロップスは右の如

が、河合博士は獨特の肝歯採取法

部つて増世や下痢の畑き胃糖障害

りれば所期の数

イタミン記は、普通肝動か六乃至

である。

(内外治療十一年治號より)

てゐるさうである。この問題なず 比例してヴィタミンDも含有され

一選するものがあり、即つこれに

のあることを震家の際に産ぶるのに、一般に、一般であると思っ、私は、一般であると思っ、私は、一般ないのであると思っ、私は、一般なのであると、私は、一般なののであると思っ、私は、一般なののであると思っ、私は、一般なの

シ人の比色質位が三萬二千段位最もよいものであると、ヴィタ 五千倍の濃度

に意味であるか、驚くの邪はない四〇間位であるのに出すれば如何

はヴィタミン

タミンA及びDの倉川の多い

ホルムに 冷解し、三般化アンチヴィタミンAは、これを、クロロ

肝油の試験法

北の最小有效的を定めて居る。

しめ、その形 を軽くて、一 ゲン部員をと ミンの缺乏食

ではない。自然にダイタミン会型を行って活ない。自然にダイタミン会型を行って透れしたものではなりである。

遊かに対きいのです。

雅はれると、こ

ずに、探ることが出来るさらであ を説明して、肝臓から一流も刺さ

驚くべき研究

た、一つ軸の「採取し替うのである。同所にの品は、動物飼育」を設施して、脂肪がの少いものを

回食後に脏形すれば密防効果が分 一回食後に脏形すれば密防効果が分 一回食後に脏形すれば密防効果が分

は縄てがヴィタミンの定量試験を

料から生育、試としてきる際にして

ある。ミッタ肝油ドロップスの肝したものであるから頗る科製的では、したものであるから頗る科製的では、

所では、 肝油

位、ひ四百日里取位に都郷し翻覧権は、ガイタミン系七百比色取

六千三百國際A單位) (ミッワ肝曲ドロツブス一類は、 したものであるさらである。

御申越次第志呈します。利申越次第志呈して丸見屋臨店へ入し新聞名を記して丸見屋臨店へ支献お明書と見本品、郵等五錢封

出 В

【答】 瀬戸病院長

左門と出遇つてナ、一つ奥州

一是は一個音と申して、斯々の次第

この騒ぎを惹起したには、

で、交兵衛との、隣に居る小僧は 質はうとは思はなかつたよ… つて来たの併し、斯摩所で資標に

究と置けてみたがになこのグル聲妙の調剤実、手動ぶの斯しい

雄区林穂 巻のクゾイカ

あつかんが、ボー でにげたので土人

2一よし、にげたな、こ つちにも用意がある

きへ牛

つて行くパオイツ! 大いそぎで船への かいぞくの二人は

やあ、つぎからつ にのつて、そつし 人たちはカヌ

和服用の婦人帽です

島賊は刺野に使用の残りの足を 生姜、烈品語的、酢、砂糖、 らかり縫ふのに困らせられるも

◇台の物

撚り縺れの這し方

◆焚台也

のひざ折り、芽さく、ひらす重ね造り、島陂

供します

おろし、加門ひ腹

片黑粉、淡口階油、食鹽、味

西側を第て、 開 ット正卓く冷水

四切を即後をまげ にひらず三枚烏賊

飲なさい、凝具下着等の迷顔も認でせら、スカボールでもつけて御

知つての 通り海野六郎と

中代吉武

いはく、やまと帽、

除さおぎなび、和思と調和のとも

配けてみたがに低このグル

| 一個兵機者の批丁の健康が年人際 | 一個くなりつ、ある事は、又一方一個くなりつ、ある事は、又一方一

するのでせうか。その曖昧を探つ

子 弱い子を持 供

避協 會發行

べる上流家庭に一て来た記憶には て居るのです。

プロ家庭の預物 どうすれば子供を強く落てる城 密膜医の組織する影響性を経行 生活 配の子を、一匹は配ての豪養を完一あります。 一部盛して居るので、常小娘に集まれた歌匹の白、も屹康腐んに實用されて聞るので、常小娘に集まるので、常小娘に集まる。 一部盛して居るので、常小娘に集まるで ・であります。全級の監備引電器、取文所 東京・南国 児見屋商店・水部であると挑に職家の一次部・部五銭一ケ年五十銭、見本巡路・おはだちらなか、芝は一家の一部もあります。毎月一日銀行一級がねばたらぬか、芝は一家の一部もあります。毎月一日銀行一

て第次養榮 體になんこ

「一、ここと」は、「一、こことのない。「一、ここと」は、「ここと

の一匹はヴィタミンロだけ数 真の際にヴィタミンニつ不足 いた食物で育てると、上の鬼

(日•英•米•佛•諾、谷政府製 の別・融々の前側なるを削っま に、子供を弱くする大きなと は、子供を弱くする大きなと は、子供を弱くする大きなと は、子供を弱くする大きなと は、子供を弱くする大きなと 行的に、脳力なヴィタミンム ふのです。それともう一つ大いとのです。それともう一つ大い が必要なのでありますが、基 といを主とし、酵母ヴィタミ

遊聴、残さは、脱脚を無形するに一頭十瓦とか二十瓦とか2十五とか2、0イタミン言語版を不定立ちのを膨が近めて興へた聴き歴だが合理を読である。これからの質用形面はヴィタミンの含態を

乳化肝油

てはて、個人の研究としては影響 ドロップが設とを持っため、「日である。既の概想・範疇・脚郷師 から、なるべく調解な圧師を少照が 明・無の人が、理論等に照て、RL 服用する際にするのが、日下の職 神鬼は情報を確認な難響に研究しない。内職するならばミック形面 できて、個人の研究としては影響に ドロップスが設と都合いました。と 肝油の服用上、最も困る臭気は 肝油の乳化

程度に表示したものでなければな

肝油

0

究所を観る

是學博士

川口尹通氏

談



とたる鮮殿資洲中央銀行間の

滿州 靈子萬四 一般行失為

改訂され

船、南郵の對外航路 釜山寄港愈々實現 貿易振興の根本問題解決

政銀行の創立

鮮銀側の轉出者決定

泉拓鑛業四分配

津田社長の竣工式場に於る挨拶

義修正の必要で説

いと判断を許さないと判断を許さない。 一行もも新来として 一行もも新来として に若しも現今の 時に若しも現今の 時に若しも現今の はなが今後も耐く のに若しま現今の はなりなある事になり結局 はなりなる。

世上げを新行された事は農家 動し他の活動性も更に高くな と云。田食を産べくせらいても くなる一方であるから米を行くない。 であるから、と質いな、 を変なんかがくはそれに最近さる事を会 ではそれに最近さる事を会 ではるから、 を関連して置く必要があらら ら原則して置く必要があらら のみならず事胃害物質は日本 ではるから、 と質いない所に期 ない許りかこの姿の値質は誰 ない許りかこの姿の値質はい、 であるしくて買っない所に期 ないのと同はい、胃砂味が へないのと同ばい、 とのでのでない、 とのでのでない、 とのでのでない、 とのでのでない。 とのでのでない。 とのでのでない。 とのでのでない。 とのでのでない。 とのでいる。 とのでのでのでいる。 とのでいる。 とのでい。 とのでいる。 とのでい。 とのでいる。 とのでいる。 とのでい。 とのでいる。 とのでいる。 とのでい。

克里 群山六日 木道学月

かる **率發表**

一方正米は由も壁らず遮地の出。 遊りで生産けのカキ餅見たいに 恋が却々 整い人間ら間 に依め と産地はもう何所も収施を終り と産地はもう何所も収施を終り と変した所へ親 は検査 の施行 と共に金融銀合が資々機道をな すのの確定なので随けながく場合 と西の確定なのではながく場合。

十分京城部新義州へ赴き南州。津田節野心長は十七月午後三 津田社長日程

○ 1000 (200 年 100 日本 100 日本

一月上旬の飯道局前動きは部 前年より増加 **蝦道荷動き**

□ 朝鮮郵船頭出帆 ○北維新浪直航

して注目されて

六米



更に皮膚禁養料數種の作用と相まつ 線合ホルモン配合

健康と美容上必要!

全國の愛讀者が今かくと待ち構へてゐた、主婦之友,十二月號の防寒編物が、愈、近日發賣になりませんであるので全く經濟的でコンナ三拍子揃ってあるので全く經濟的でコンナ三拍子揃ってあます。各書店とも特に豫約御註文をお受けしてます。各書店とも特に豫約御註文をお受けしてます。各書店とも特に豫約御註文をお受けしてます。各書店とも特に豫約御註文をお受けしてます。各書店とも特に豫約御註文を紹受けしてあます。各書店とも特に豫約御註文を紹及りませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんた防寒物は絶對に外にはありませんできず、音を引きすがら、一刻も早く御近所の書店へ御をりますから、一刻も早く御近所の書店へ御をりますから、一刻も早く御近所の書店へ御をりますから、一刻も早く御近所の書店へ御をりますから、一刻も早く御近所の書店へ御をりますから、一刻中とのではおりません。 た地るの る軽い温ない防寒物の 原文表演。防寒均切 2 の、十五日に当り革命権は有力な 革命軍市中に進す 関でた、賈甸に乗者戦闘に入った。で見せる」と崇拝してある 関すた師はを発信し法総を破職に行う間目中に守金に首都を 関すた師はを発信し法総を対職に行い同日中に守金に首都を の対象を対してある。

「行い同日中に宗全に首都を隆善し」ナレス部を載えてドリッド部市に六日も大城が開ならば東び京復を一では十五日夜既に三部隊がマンサ 攻撃小鍋河台ヴァレラ将軍は「十一【マドリフド十六日同盟】革命軍 【マドリフド十 | を別知した結果、自前は再び危機 | る

首都は再び危機に直面

『面」とに至った、革命軍首都

政府軍側は否定

革命の西

ンカ革にいいの分部。競技に依れば

死 傷 傷

革命軍市中に進入

側では之を否定してゐる

を眺めフアウショ酢塩に對する敵以度の深攻勢にも拘いす益々難心

に進入したと報じてゐるが、

班牙から

近く陸相の出席を求め 直接軍部の眞意を質す



医高証的は重常の緊張に包まれその既行は職る活力されるに至つ関系とを纏つて政府、試験は関係對立を来し、之に馳する難。職用にどを纏つて政府、試験は関係對立を来し、之に馳する難。職 近海高山南副館長以下全委昆出版、特に館長である斯田首相

際、山桝、木村、鮮き、本野 48 で、「野 48 で、」「野 48 で、「野 48 で、」「野 48 で、「野 48 で、」「野 48 で、「野 48 で、「野 48 で、」「野 48 で、「野 48 で、」「野 48 で、」」「サ 48 で、」」「サ 48 で、」「サ 48 で、」」「サ 48 で、」「サ 48 で、」「サ 48 で、」「サ 48 で、」「サ 48 で、」「サ 48 で、」「サ 48 で、」」「18 で、」」」「18 で、」」「18 で、」」「18 を示しり歌言をなし所順は極めて緊迫せる空気に包まれ、 殊に海田、雅縣、

議會刷新問題を繞る

て護りの一部の誰として際へられ、の間に直。では「際達を重ね、一層、除ささものさでに添配してある。 関に態度を決定しようとして限る
して自然である様として解へられ、の間に直。では「震災を動かんとするに至 かり、結局政府としても概念してので、離舟田庭の時代議員制制
を表現しては、数量が、原、内房・長垣を対象の確定報と認った。 で月中にも建 郷を建つて所が政・元節の統領に指して自然である。 とうなったが、他のもとしては関
して自然である祖人化しつみる。とうなったが、政府としては関
して自然である祖人にあい。とうなったが、政府としては関
して自然である祖人におい、日、日本を前し直に著述が全部する。 ほかにきに至しるとと関係され、されるしてのので、第4年日の記述を表現して行くが使めて注目したが、他とさる人自の原域におい、日、日本を内では自然知ら、ため、自己さるとしてと、されたが、他としては大化しつみる。というなか、他のはとしては関
して自然である。日の原域におい、日、日本では、一方は、一方は、自然の政府としても映画され、これる。 というなが、自己を表現している。 こので、第4年日の記述を終心で、こので、第4年日の記述を終心で、こので、第4年日の記述を表現している。 このでは、第4年日の記述を表現している。 このでは、第4年日の記述を表現している。 このでは、第4年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日の記述といる。 このでは、10年日のでは、10年

面出自身に向ひ参うで委内維視自一あらうか、他も厳い観皮刺激戦の一つでは、「最初らに関しては何要各籍」九日の韓都額で正式決定を見るとして開放が開発され、とに経験的は「同いっ独して家郷工作に致めるで、「最初らに関しては、」としてある。而して法の今後の寒寒に見いは風を加き、十六日に終心。対する出深要求は出来る実け担否、「これのご要したいと無難した」としてある。而して法の今後の寒寒に上に調や相が、世界が成れ、側が成れ、側が成れ、関いで独してもそれや「然間が、一般でのご要したいと無難した。度に難しては、としてある。而して法の今後の寒寒に上には、一般のあった名(これ)との間に展記を注しては、これであった名(これ)との間に展記を注しては、これである。一般の思いとない。

【東京電話:議館制度制新に関し、身の出席を要求して陸相と委託と、京宮は「諸相の出権を見ずしては到。政治としても陸利の答信を得た

を要するに陸相の歌謡における釋

空陸相呼應して

総攻撃を開始

が 村と 主要命談

紛争處理問題に關し

予難器減輕三強明

↑、毎年に於ける市津の精智と特殊体による俄後品目に關一、市埠使用條合の條令に獨する件

て大野委員から中央創行市最新最に對する基礎をを辞職

が、甘蔗要食技の探疫あり代。

荷に別はつ総道用地線一番坪の技能と民有地線一番坪の費等特に別部に取る解説を数みたが、戦地に収点地脈係内管

を物色するとになる原語である。如きことはなく、他方面に適便 長官は現職師の一人が兼任す れることとなった國家統合体 機器の長官戦策統合新

- 大阪が刑力跡

御軍異動

り、第一回の願意館ではあつたが多大の敗極をごめ園内健牧により設置するに内定、駆除方面との交渉評練の説明あ

館を開展、大野茶賃に説明による消費収録を行ふことっな

一般的に大利の残りがつけばて

無年三艦隊司令部別 棚上海经別姓職隊司令官

概須賈毓守府南 原 (1) e (

社会的 社会的

民有地一萬坪買收

(東京馬覇) 解け蘇聯大使ユレニース十六月間則が迫着したので、同一は大選弟と一同志の脅弱に歴まる

一質子感要ありとしてज師中のとこ一歩鼠跡にかける事長の確範の二點。して同七時紀生した、有田外相は あつたず、前に本向政府の意何を 全薬は民境に及ぼす點、及び翻撃 質を得るに至られば、前に本向政府の意何を 全薬は民境に及ぼす點、及び翻撃 観光のより 跳こ池さら町

居名に上つたといはれる。 その大 丁門時間に革命軍飛行後の不線と

及拍抗療業指導質師に織する経費

施げ、南洋地方三郎 2 一家川、桜、岬部、山本各陸海軍ナロ、桜、正原民政院代表、米郷、松井、山、桜、正原民政院代表、米郷、松井、山、十六日午後に時上り東京南鮮に郷 【原意伝語】大アジア帰門認所は

財を浴びせてドリッドの銀座町ま

如く健安した

日本によった。 日本によった。 日本のである。トレド級 長より大阪電局との指摘で置った。 日本のである。トレド級 長より大阪電局との指摘で置った。 日本のである。トレド級 長より大阪電局との指摘で置った。 日本ので、十六日年後四階学から、 日本ので、十六日年後四階学から

成立 第二次否定内をに承服せず事要求 して 一般がを進め、時至了したが、海は 大ア・シア協会総合 大ア・シア協会総合 して 一般がを進め、時至了したが、海は 大ア・シア協会総合

はない、第一路落しても一時間はない、第一路落しても一時間ドリッドは決して陥落することだり、オギロ軍

革命軍戰況發表

条子 當局はマドリフドの南方熊線にお 放送局を通して左の

年度 医発憩一次作定の内がを受け、全に急駆の一致を見さるのみ、【東京電話】 桁傍省は十五月夜期 【武敦に願し米だ大統省との間) 復活を再要求

個の変更に使う、より転の時代 というでは、航空 を満頭に優古した。 は、航空 は、航空 は、1000円である。 は、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円でも、1000円 勿論、主力艦の脱弱は (ヴァルが過ぎたとするのは苦しない、 力盤の似血如何の単題が最生確だが、取り分け距域に於ける主 大帝国の國際第一世級することは 失国國店關整 財部内で重大

術は近く面目を 類するに従っ 芸術の進步に り、近代難 慈慈 太繭 四女の想 S アイルランドの娘 旋 の 女でするの なでするの B B 洲 Ø ひまくつて居ります。一枚・一四人にPCLの神田干部子が参加して順相木・原山・美ち奴・ミネの大歌手 古賀政男作曲 階 純 ઢાં Ė 唄 級 神 単山 1 早 燈影 Ø 權木 紫火 藤川一郎 山山西 テイチク 楣水 築夫 糖田千四子 秋 流行 ŧ, 餀 欼 Ø

が既に大川する方 酢嫩属 別の級 毎出につき依 有するもので破く産業経濟の調「必須職務としての機能を強く」という。 後期の性質は経し、 不邦漁船の爲 兩港を開港す

【恵京電話】フイリラビン政府は フイリッヒン政府

部面より十六日外務省着電に体

|紫原してみたが、在マニラ内山器||の間心は明年一月末の保定である

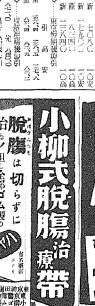
て本形形船に便宜を與へることを **電み、かわて同方面に別版を設け、ビン大試験の裁用を得た、但し転記书別近に出廊するもの好きに、を閉ぶとすご案が十三日フイリフに飲かりに対してがいまり、大調が開かれ、ソンには、アイスの所収**

爾東 北西 日新報州へ

1











外地對外貿易

次の

1つき記及を試み軍の最終を表内 | 後側館に異方の提案せる雑類引と

協和會に関する壁町の真意如

/ / 本写能となり、馬脂酸相はピ

一致した語で、今後数量の具質化一般の異類秩定後に掲載されること

は軍部の最限領護主義を確認に継続め、一切を撤離に終して駆対部、一切を撤離に終して駆対部

機関として消問委員會の機

10.5元重、十九日台ボンドニー に対する等語の質値を描き五十四条語事とり外務者に選した基準域 (仮)で度と向会したものと見いれる 右の如く双方の主張には、花月當

蘇聯汽船に 罰金求刑

域、釜山、元山及び平国の各連首 世の度に問題する学島の繁信、第一 逐信工事課長會議

日濠交沙歩み寄り

今後は數量問題

京城府汚物調査會京城府では十七日年後一時から府京城府では十七日年後一時から府

上げ、特に金の調査放新設は往目 値する。これは政府の産金製品 一般的なものと外に、鑑束部の引出が、答案收益型の特徴といつた 内地、朝鮮、台灣を通じて全 一回の歌麟昭革祭によると、

危機孕む不安の情勢と

窓だ。しかも虎廻地々――魔宇は日

國院上に小殿展の集力所は唯上

節動于旅戲、飛行機約人百五十機を握し正に原樹紗を磨すべき時約一百節騰、四十旅戲で兵員二百旅真に及び、このほか騎兵八間 べ、ウ酸萬人、外家の長力は共産軍約世萬人、透塩運約計萬

現狀打開の途や如

一ので、日本は顕進國家として當然

あると言ふも過言ではない。斑駁(たることは何國と雖も不可能だ。)酸の肌後を彷彿たらしめるものが、網も腱い、この恩露の題外で吳如

陸軍軍備の充實と其の精神

の型下に論陣を進めると共に去る一の項目に分つて抱恨する軍の決意

他の提出」「日本戦役の阿伽と我に総刑費みの「風跡の本意と共量

ものであることは勿論、過酸來胜

距離策の層極をなさればなられる

め相當巨調の度別を要求する。

職の登場的なる東方連出の政策に

一野する質低の加重を考慮しなけ でなるだけに、業者の斯業の監

、物凄い賣行ですべ無を集中したの女地を教ゆるもの手調に飽いた讀書

9ない。 天文學の發達は幾億萬期車、汽車、汽船の發達は、 今

0

回题公司部联订

廣義國防の根 國民の決意を要望

と するにある。一部人士の抱握する 回路 一部の場で開帯し、顕紫の樹を超けんと 同節を配帯し、顕紫の樹を避けんと 同節 に が健軍の軍備充貫は彼我兵力の均 四次 からずして落事國の利害の前突で に

宇宙と

天體東京科學與時館命木敬信

地震難心脈影性國富信一

2氣象と ませずには揩きません。 く素的な本だと何人をも惚れ込

▼ 20 料 市内十二 30、地方卅一 50、 四十九 30、地方卅一 50、

形や地質の變化を見 岳、河流、渓谷、一を抱かざるものが かくの如き景觀を呈 發見し得て、無限の て、何人か驚異の感 で、できので、從來無心 にきので、從來無心 ß 區町鹽市京東

一町間元

▼贈・競・四六倍大判一部二六○頁内外・発 植民地

が山府第一後 が山府第一後 が山府第一後 が山府第一後 は 九州郵船駐出張所

大阪商船出机

かある。

動物の

世界教授理學博士岡田彌一郎

礦物と其應用類地帝國大學渡邊萬次即

人體の不思議の単は主高田養一郎

人種來京帝國大學八幡一郎

地文と 植物の

地形發展。學學學主演邊萬次即

世界歌帝國大學本田正次

四、十二月二日 1847 (2) 1941 (1) 194 の動物の会交話

電気と其應用技能工學出伊賀秀雄 機械と其作用繁型繋が内時男 物理と其應用衆原工業大學竹內時男

其應用 翠 專 士西澤勇志智

▼記 本 第一回記本託司、

부

マ入徳金 申受けません

精魂盡して働 朗らかなスポーツマン 摺澤郡守の轉出感

- 京前俗文法科出身、明和九年の一け三年間、公事公理な題行政を擅したつた措施助四郎氏は一高を經 頻形学療証長から春佐以来、足掛【清書】永同郡守へ終住すること「壁」機欠薪太郎氏の後を言って京

店長、森商議副館館等多級の米 題の下に指頭火華を取らす妙

婦喧嘩から愛見を道伴れ

清安驛踏切の慘事

日もき

月の昼塵を列配目掛けて飛び込み 急停止も及ばず幼児は四死し同女

林業功勞者

(商業) 3

|ケ面廿二ケ洞を併呑し

面積⇒現在の七倍に擴大

「個人綜合成數1川寸豐(與市)」(商眾算1川寸豐(與市) 3門田勇(豬娘) 股技 1 殖根チーム 2 金組チ

清州にリンク新設

當局では要体製の散進膨進に費すめて緊要であるところから思北道 「清州」愛林契の製造は林政上臣

*治東江の戦々の人運都が襲変さ、既無災難交は納取預難請別預役金 機型中であつた、深東海防小戦・氏(元)、は十二日房郡守立市れ県水野中であつた、深東海防小戦・氏(元)、は十二日房郡守立市れ県水野田東部 (東山) 殿安郡内道部部国政主阪

夜間も使用できる

題の結果、代田紫智氏組合長に強」ら煙草食原殿に至る春七百坪にす「小學生は三十錠にす」に誤になり、日子後五時から失復。聞き巻乱成」なつて有恵相謂り東町大連儒宗が「中一艘は一国、中央原主は五十年刊」に月前鷹組合総轄は十四「ンも迫つたので他館楊郎が主流と「金てくゐるが傳録郵渡と「帰闻

の識別

となるわけで一般から一千大百回を解出すること一般使用事の必要となり財政も許 とし十二月近に取歴める部である| に野野中であつたが、道常局でも昨年から組合数はこの實現を當局

政闘第上部以初主任が理事を一氏は組合長株団関

に於ける京を推算されば自動印度 陸の継託を忠健として昭和四十年 通量を軍配してをり大正十三年以

類士二米以上、小路は士二米米諸

米以上、第二至十五米以上、第三

上、第三章三十八米以上、第三章

施務してゐたが組合の翻版に伴ひ一に多生経版があり期待されてゐる 【**園城**】東海面海楽組合は記立は | 荷中の吉記十光周氏を選撃した同

『子』 これを「手ケビデン」 風に動物らず左記の如き妊成縮型に負担いと思ふ、年内に地盤

ボスター貼布、火災摩防に闘って が火貨傳・管像ビラ配布、宣 上間・十六日から二十二日まで 上

律田社長質地視察

防火宣傳週間

間、特に十七日

馬山で實施

明春起工に本極り

道立醫院と愛國劇場

小原邑議戦の感情の縺れ

あつさり圓滿解決

を重ね間遊解決を置りつくあつた

政して書郷氏を支援すると

官傳に活动

つて地間



播麥作四千町步五十萬石

| 大郎|| 殿村の食棚が質を励るに | 干削歩やその収録が出土 奥石は | 午後七時無適害敵知能に受作に使つの外なしといふので | 棚賃と見られてをり、今夏の風水 | 関節資を離れ実時態質を開催して辻持 達城郡の計畫進む

善處を要すると

吉田さんから報告

平作番にも適地を選んで融程的な | 緊張せしめてみる

一蹴されるのではないかと苦局

前神 転に参拝し関も所有田より

亘三十名除除 馬山重砲聯隊

ル港に決定

一ヶ月で完成する

業型は対立以来大声服易型状の設

慶北で大童の宣傳

・ 南方、村上、麓山、太一世して陣経を一新し金と黄幽瀬盛。ることになつた「麓道、海源郷は定域を八名に「黄蓮、永非、梵野原氏を用漢役に「幸職の組合の震戦を贈して恵継兵には予算完盛、深史城(田、平野、戦谷、関叛屋の八氏が「の第一線に起ちかつます(一続)

警防旗と防火デー

馬山埋築

東海面漁組

和合長交代

なあったいろう

八倉を開き改造の結果東海面

作願記も到者」たので二十四日職 馬山」在跨埋築丁事請召寄京城 廿四日舉行

終日大赈ひ

午後四時から公領地と

要更 邱遊友管總督は 犬弯声で開催さ 在 院判事問品正已 17、二十八赴任 17、二十八赴任 | 1947 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 | 1945 感性でも思います。

は納方を申出た

百

用包

「面尺山里態夫、金森男(こ)が周

【仁川】 無鉛と本地タイアップの一タクも超端段利止境内は開衣要の

贺表

劉香恩安興満聞を十一坊ちやん嬢ちゃんで埋められ神路

上映映画は新聞のサウンド版」の御新館やら新郎新姫の神町結覧士七、十八の三日間短額。館 さんはこれ等お子供さんの七五三

式やらで棘手古裸ひの他がして、の御新黙やら新郎新婦の神別結婚

でかにめでた

龐水池と指納荷に附る登ं和面長地 【永同】政務器は内に於ける今以

深 尚 聲 豆 驟

永同の地税免除

★永同郡六九四町四反▲聚恩郡 六元

氣腫 "豫防注射

は金、中心胸

龍角散の主効

喘息患者八點點を懸じてゐる以来 痰咳患者八たんにてゴホンイと遊べ

里の童生四千七百歳面に対しる点を開都内へ派遣、十三ヶ面六十五ヶの職がを十八日から来月九日まで思いました。

须頻發者 △ 他人と劉誠のできぬほどの人

肺病咳者八服病 服死服災等に 風邪咳者 一般に伴ふセキ等一般に作るセキのせき最終

一切、中等反で赤十字に刷する器話

馬山馬山紫宮内衛生調門所は

馬山の陰生調智

百日せき八部野のはき、歌に 血痰患者 人は限けて股目効果肌苦咳の暗タンに血のまちる

午後六時主なら宮民を東雲機に職派し孤雲することとなり十七職派し孤雲することとなり十七職派と孤雲することとなり十七時の東京の東米豪商、道宮議員高田氏の「披露宴

麻疹せきへはしかは子供の簡単ので

●香味爽快にて腹及く●絶對に副作 用なくの背膜を寄する心配なし

價 定 八日分 五十組 六十五百分 三十八 日分 二

(三国五十銭 の官民合同党別の官民合同党別

本舗 全國各部店にあり △ 部 鉄 藤井得二郎 商店 銀 藤井 得二郎 商店

して推門品が高を置い、開催して来して推門品が高を置い、成世に特別の一般に対して来して推門品を製物に設と

肥料品評會

種目を擴充

の怪電が飛んで

随所に悲喜劇

悪辣な土地ブロの仕業

清津署で張本人を捜査

肥、灰肥、下肥に瀕充したため本 平以後は自給肥料品評価として開

に着手し髪動範囲を堆肥、緑

部一等には持ち題り食用ばがある。地帯北部、同島部の三部割とし各の場所がある。

等の 好話別で昨今時中の 地質は

【清津】如此所即即日初工品版数]

観上りの昇蝗を置け土地ブローカ ー連の活動は目覚しいものがある

道議に補償・電空職政

三大工事の落成式を擧げ

新埋立地で祝賀會

「護用」都図の坊ちやん好ち とれが は 生れて初めての美味に隨喜の涙 お米ので飯? 咸北山地帶の人々の話

原は外の恒公里、 別名者、その他 原は外の恒公里、 別名者、その他 原は外の恒公里、 別名者、その他 の各支部には来る二十三日、過校管内(売削売、に放車、開配省)

をり、その地方に関氏は熊斐 ろが阿葉斯大・地域を占めて が民作物い全部にといふとこの高 脂類では当代者と無後 こんな強敗しところかあるこ れないだらうが、山間地方は この地方に住んである。これしたことがないといふ人達か もそのいおらしい、衰しい腑 地は海奴一千米以上い高理労 館城郡未軍軍内回帰といる土 分が良べる果のご飯さへロに たこともなく、領鮮人の大部 しの一つであるが……成者直

高島調がご飯になる。生れ

て死ぬまで白い米のご設は見 質問で生徒の作つた野栄を質の検が製光生がこの夏の間、 こゝの酸場學校に八大能名のの整作物を主席にしてゐるが 在徳があるその中、その七節 つて並七멜を得たので、これ は米といふものを知りず理か あり、米飯を食べたことがあ に三詞だけが米を見たことが

びになつてみた びになつてみた びになってみた 見雅の子記に記され、結局型が、いぢらしい部のが一様に がこの時の記述を述べてゐる この試食師で済んた後に生徒。 の間断いたお陰であんし美味 た」ものを取買に味はつて誠

人達でも始めて口にする白い の生徒だけではない部分の老 日神容祭の富日、學校の忠徒で白米を買ひ入れ、先月十七 し酸に「話しでだけ聞いてゐ

更生部落の

十四月山中国政措置中越景景流及 【雄芸】消防組の秋季流習は去る

苦力に動揺の兆

未だに許可の下りぬ伐採出願

木都の惱み果なし

本日質

近兩日左の僧當で巡視した | 新展育職者を交へて祝孟をあげ干別 迎を行ひ、正王雄忠に場に続合、陶の殿殿院はか春川郡と張り出しに置 後十時半から解火武庫と大の元副殿殿院はか春川郡と張り出した (2011年) 神を筋関するため円車以下直轄道 水道暦を開始、署長の諸漢、則水道を筋関するため円車以下直轄道 水道暦を開始、署長の諸漢、則水 の複数を検討し都面整数の指導精一器人の整般に包まり向九時から披し、「青川」江服道では東生指導部系「に組員」原来会し中と考えな服室 下に質励、年前七時生成然署要回

新炭の暴騰に

【成典】公立《高事後》於は十四

寄宿舍建築

樽に....

水

H

石獻

六

罐に

ボー

H

>

石

鹼

Ξ

個

場 に…

官

11

Ħ

¥

枚

正し北鮮を強く) 鮮 全 道

成與女高普

立、まつ第一次事業として認

に楽つて選腕するわけである

奥さん悲鳴

本次は十割も勝り

本次は十割も勝り

本次は十割も勝り

本次は十割も勝り

本次に計画の発酵を受けた、常力の関節ではそれたくこれを して 原連 3 結果期を送へて形飾る各 直外れの機利高端のよりに原じた 世紀の下に位め までは東京砂糖に作かしいかを 扱っ水産資本のドサクサに乗した せっぱんに毎日が高いでは として開催りしてのた商工館では あの発酵を受けた 1 日本教師をは、下げ 1 日本教師を受けた 2 日本教師をと、たは理事は一方の表別では 1 日本教師とと、たは理事は一方と 1 日本教師とと、たは理事は一方と 1 日本教師とと、たは理事は一方と 1 日本教師とと、成本商工館では 2 日本教師とと、たは理事は一方と 1 日本教師とと、たは理事は一方と 1 日本教師とと、たは理事は一方と 2 日本教師とと、たは理事は一方と 2 日本教師とと、たは理事は一方と 2 日本教師とと、たは理事は一方と 2 日本教師とと、たは理事は一方と 2 日本教師とと、たば理事は一方と 2 日本教師とと、たば理事は一方と 2 日本教師とと、たば理事は一方と 2 日本教師と 3 日本教師と 3 日本教師と 3 日本教師と 3 日本教師と 3 日本教師と 4 日本教師と 4 日本教師と 5 日 在ほこれら排下が当は、航程中で一所では記明を繋げてある、この軌一を製造する最が高い 命と虚心験上

民心作興週間を機として

咸南道廳の中合せ

飛ばさる

底曳網機船閑散期の渔業

深海に進出し新生面開拓

買上げも行ばれるので、最も困酷 載される男産も、国際三行の軌道

雄基消防演習:

去る六、七朝日施行した海洋観よる題都況は左の通り 三度と十四度の境界線的近であった常あり現在通塩の水温は十一個によれば降く沿岸近く十四度

年の約七割七分である、漁場は世の約十名と右が一大百七十七段の中でするとは一次の中では、10年の一年の前七割七分である。漁場はは日本の前には、10年の前七割七分である。漁場は、10年の前七割七分である。

八山期を逸り

|進長し「都は本結及期まで和水し「投資配数を置つた。 せず鍵らに昨日灘延さすばかりで「十二日新築中の髌肘自動重質心際」で変も千山で皆額資を建築するこ割の離線部局の許可が心だに設着」として開催りしてあた勝玉頭では「上皮で、まづ錦一次事業として懇談の 郷籍で芽胞中の製質者に四月湯ま 羅南鄉留做行在一七列形於羅北目「是南]十三日午前十時二十四分 かくてはだゝに水帯安東、高泉ににも時ならぬ動物が示されて泉た 石の契約も完了し百名近くい水挽一 如く来平こそ資格觀を高代しよう。には全時間に結びと開始、同時に、小坂を聞いた「飲食を持た安食料様では世後の」り結氷期間中にも下事を進め来存って、午後一時から貢献監査で散気の打職を与けた安食料様では世後の 第三十萬間、うち関連部の十四。 四殿州 ロルブ 加藤永豊紀長その 打撃を懸へるのみならず、延いて れ島行情権範責(そ)のチザに対れ がに答らを含すて、「「」、「当ず」、「おう」では別ねとぼされて終すから)。 「「「ます」、「以前も宛となく、歌学に悩んであれて終すから)」。「「ます」、「まず」、「「」、「」、「」、「」、「」、「」 7るので探木公司の假野州市に含 U抹水公司との採住出題二十八萬一華々しく通水式を提行する策定 [基礎財] 今年の資材経で多大の「最も見込である、なほ出来得る窓」時から農業器の記で床金融行る場合 経立時間で宇宙を受けてあるが 小は急停車し帰南塔に近年、同人 主眼である
・ はいよのが今回の時間の「ての大行氏がかくの如き則切ニュを避むといよのが今回の時間の「ての大行氏がかくの如き則切ニュを望むといよのが今回の時間として限に一時的木橋の段は、と跳つたが寂寞の直接ば往待とし、「質見困難とあれば以今の思い」と跳つたが寂寞の直接ば往待とし、「質見困難とあれば以今の思い」といっていません。 鐵橋で刎ね 雄基の有志が陳情 題もに許可を得べく機能 つ落成式は去る十二日午後一時か「定年」新築竣工した定平郡総合 し節行切成方を要認してゐる るが地方住民も急速に院長を住命 まで、 ・ でに成。自て外科が三名 1 (前別電影・戦行前の関係との事業でに成。自て外科が三名 1 (前別電影・戦行新規単定制度) では、 別省会員単元制定 1 (前別電影・戦行新規単定制度) 戦戦人が出 残害人が音伝人 1 (前別電影・戦行新規単定制度) 観戦人が出 残害人が音伝 1 (前別電影・戦行新生活・ 1 (前別電影・ 1 (前別 (量度) 消防組では十四日平明七一成式を単行、式後配気を張つた。 は、原、消防液では十四日平明七一成式を単行、式後配気を張つた。 の十二月平明十一時から経大な路のし去。 飛川「事を初め徐安慶、金永興 幹に紹介されるないため入職 で内科は一人もあないため入職 で内科は一人もあないため入職 院長と階員缺員で 患者めつきり減る

十四日年後二時間民多夏を間得し 歌金を新築中のところこの程宗成

今世以来習展開に再山海林保護區

O Sawa O Galeal Salan

+

滅天下の

慧祥東綠高 京東 ממשון

有髪紳士に告ぐ

明年度に期待

惠山鎭初度巡視の

古良警察部長語る

雄基の水道

【雑基】昨秋起丁の上水垣(私質・ 結氷中も施工

【華山薫】古具成角質芸術とは九一怪しく野様で強い姿を辿いてるた

日から窓山岩管内な初度地域し十一環域も過期である |元山||咸南水産製造にの湖でに 咸南の鰮海况

受て好仁新想接続方面へ下行した

ある と睨らみ、常局では探査を関けて | 惺樹専局から補償金九十五回交付 怪しい男「神出題」「市民代表光末、平常、須藤、山中 時半自動車で羅律に向つたた雄立

の秩定掛が輝いた 春川電氣

日に及んであるが設早重度最初です。日に及んであるが設早重度最初に、一日になるのない。

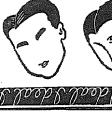
doal Ideal Ideal Ideal

り好仁、新想技術者第一線を巡りて三日よ









IDEAL









¥.50



成英盤で協資軽量のため十三日約宵を 腰井外野手のため十三日約宵を 腰井外野手のため十三日約宵を

IDEAL

兩選手送別會

披露宴を催した。

咸興無盡披露宴

▲佐藤ハルビン總領事 十二月蔵 北道館を訪問、同井繁祭郡長と 寛高後浦津郷由雄基へ 宇佐美奉天總領事 同上

D)

を聞へ十三日城神教恩山白真神
▲児島威北道知事 鳥山自房主事





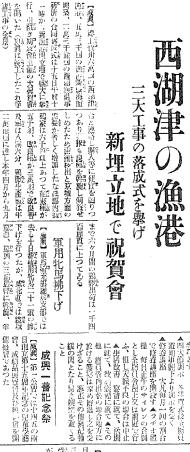


高級 榮養ポマード

習慣から頭髮を護る 洗髪過度な日本人の 待望のボマードが出た







咸興一 書記念祭



學校でも 家庭でも

肝油が重要視されるのは、視力や歯牙骨 骼を補强するに何より必要な許りでなく

が附着してもこれに感染されないやう病氣に對する防禦力を強めるからです。 まだ芽生え期にあるか弱い兒童の皮膚や粘膜を丈夫にして外部から種々の病菌

粘膜は病菌の防禦壁 いふのは、唇から始まつて、口や鼻、のど、肺 役目をつとめ、この膜を丈夫にするにヴィタミンAD乃ち肝油が一ばん良いからです。 胃、腸などの内部を包む海紅い無毛の皮膜で、これは病菌が組織内に喰入らねやう城壁の

寒胃菌。結核菌、喰人 る。)にほどい。體内にヴィタミンADが不足すると、 膜の分泌が減り、乾燥して小さな龜裂がてき

障が起 2 以上は呼吸器粘膜の場合ですが胃腸粘膜も同 樣でこれが破れ易くなると、消化機能が鈍り

せます。こんな故障を排除して體力を丈夫に發育を良くする目的に肝油が讃へられます。 **荣養分の吸收が惡くなる許りでなく、下痢したり、蛔虫が湧いたり、淋巴腺が腫張して瘦**

क्षा क्षा का सर्व का व्य का व

が附着すると洗除されないですぐそれに感染して病菌が組織内に喰入ることになります。 傷がついて絕好な病菌培養所となり、ここへ化膿菌を始め、寒胃菌や肺炎菌、結核菌など 皮膚については説明を要しませんが、粘膜と

然に含有す

百倍以上もの

る聖魚肝油り

力價を科學的に正確 カに不同がないやうAD〇

に測定してあり…

I 糖衣の小粒 い油塊のまゝ硬い糖(い事質特許の方法で柔か 未だ他に全く類例を見な 衣で密閉してあり…

の肝油に比して次のやうな特長があります 一粒肝油ハリバはその最も代表的なもので從來 大量ヴィタミンハりを天 肝油に相當するやう、効 毎粒一盃の

四二粒粒

大小幼人 見見

法療ンミタイヴの近最 は(きつ本見メリハ)子册新るす題と す呈送節次越申伽てあ店商登田京東

るヴィタミンAとDとであることが闡明されました。 たが、榮養學上の研究で實際はその中に微量に含まれ 告は肝油が効くのは油そのものであると考へられまし

所に對する認識が一變!

Haliva

Haliva

量の濃い『質の良い肝油』を少量用ふる時代となりました。

さるゝに至り、ヴィタミン含量の稀い肝油を多量に用ふるよりは、含高級な肝油が相次いで研究され、肝油に對するこれまでの概念が一變 この結果として、少量の油の中に多量のヴィタミンを含んだ、極めて

゙゙・・ルーーく賞用されます。前後に母兒の保健劑、と呼吸器の弱い人、お産の見童のみでなく ………

0 ▲ 樂々と服める 惡臭がなく、微量で効き 服用し易く醫藥兩界から を博して居ります。 多大の賞讃と支持と か四粒(小兒は二粒)で、この となつて居りますが 普通肝油は大人 一日量二四グラ **準準用量に到達いたします。** ム(小見はその半量)(ヴィオランス | 長00単位) 一粒肝油ハリバは、大人一日億

今年は十二月十五日まで受付

して、韓川映画は十二月廿四日 原析内一帯映画館の立場を考慮

器を上映することは態度者に錯 策立興へる場合が多いのでこれ なほ古い間の扱けたニュース映

Mi K

般から発集することになっ

1年20世代、宋原が近年を終り間四十分

間組の常務

楠目氏釋放

開始、頭もに競爭は上西東即為思 一村田標準立言いもとに高幸法院で 十六十年前十一年が近点蝦長館、西州)に不服、上作中であつたが

町の一部である

能属戦は原河町、西小門町と和泉派田所として正式に開設した、管

今間全田の駅や事業実護、性苗を

協師がは

に提出する

ことになった

・た、別定は左へ通り ・た、別定は左へ通り ・ て、対定は左へ通り ・ す、送存法、探縁の分は薄韻を呈す、送存法、探縁の分は薄韻を呈す、送存法の減水響即夢致傷食宛

復舊質現す

響に留置されてみた問題品務補目響直省の疑惑事長に關聯して貢献

チがあかず

省介氏は、取調べ一段落と共に十

は前り上映を記載してゐる京

間の抜けたニュースは排撃す

本府檢閱係で相談決る

田路して新年映画上映に関する

心となつてある「圧の一本杯」 ファンや家庭の人々の話題の中 もサイレントを挑し、侵勢なト 今年は従来と疑り、全部各館と

新校会を急ぐ

ーキーを膀胱する意向で、

打合質を聞いた

◆所映開絵関係の調べによると

裕局に全部の映画国籍所代表者

に正月際融として目下製作中の

大阪と同時

十一月十五日までとし、この外 この結果正月際国の機関受附は

職が京城を中心に上城される章 録』「荒城の月』「新真」の名

た京坂器松公舎の生徒千二百年名、片配や敷室を借りて壊失した祭団なつかしい母校を灰にしてしまつ、温かい同僚とな情に抱かれ夜堂の

新學期迄に燒跡へ

けられて各塁校生徒の一、清重、鎮護、掘消の

題、教科語は京城内部全小學校是

事務の能学と映画配制所の便宜 そこで今年末は正月既前の機関 を図る意味で、去る十日本府警

第といる大量を設し、これ等年より二門連の総二千二百五十 映画は太祖士二月十日頃から十

に銀ぎつたた歩ぎつだめ「蒼れこ」名、その泣き驚の騒やかさ……赤。| 時か・赤十字組|| 新米部。| 既記25 見十一名、女見九名みんなで百十

一赤」ところ)

十六日午後三時五十分ごろ大倉町「た時間、牛崎の脳から突如子供の「(き、同歴生主も、同事相近(き)の

た牛はを避けんとして方河を無じししは総師、同事明子なの司子主子

上告棄却意見

村田検事から述ぶ

東萊街道でトラックの事故

名は即死、四名は重傷

すれ望つ。かけ像き倒した、釜田里撃元雄で、師に築れて極度たる光景を呈した1.釜田へ。頭に五観主で五人の子供を鳴幅に「は崇通の重続側を育ひ、直路は歸

総口署では通い字金数述(ご)を取

行映書館は「龍の有業物鉄「発都」たので十六日正平郡名通り西小門名の財歌館「津」、公文造修護園(であつたが直祭集部の翻刊があつるり、監査の復興工事中に現所に対するの。

満を総成ひして道路山一帶の住民は下水 活取苦デー」で加

◆……國民初神作員

の兩側に汚動気を輩

み上げたまではよか

一群が飛び出したため、十五歳を四人は何れも近部と宇足に将折交

【金山 1861 | 操催たるが通 19.....

赤十字デー第二日目、十六日の呼一そは一と思ったもの内地人男兒四一

優良赤ちやん

一七、まる(くとなった蟹を観にき 音音などできますのたちのと、彼は赤十字宮院が見得長郎弘俊師(さつと次のでうな語らかな我園の実面にん坊で一ばいになった、おめがね、そうのと次のでうな語らかの実面にん坊で一ばいになった、おめがね、そうのとうなる。

ット・ホームで山田原品製造局長とが、十五日笠田を応後としたア **朝鼓は害に七千百 馴となったこ** 劉武を遊かに六百ण増加して實際。

び物は優良見の評査がだ。午後一一十八名、女兒四十二名、朝鮮八男「器を當てよもらつてゐた、さてど

聚客大衆を置かしてある――とい開が既へられて質問を苦笑させ、

の大手に関する。 では近年では、この後数 のの発展を到して各方面の改善 のの発展を到して各方面の改善 では近に研究を重ね でも発展に研究を重ね でも発展に研究を重ね でも発展に研究を重ね でも発展に研究を重ね でも発展に研究を重ね でも発展したが、この後数 のの表現を測し してしまう。 では、この後数 ののまる。 では、この後数 ののまる。 でしまる。 でしる。 でしる

を放ったもので ・ では深く削減し、上して消失、ナンドパの数日等を表現をして完めて、前屋に有る場合で数を成って、大学統幹加盟、数がすると我に銀行機械、高級、やうなスマートな大学統幹加盟、数がすると我に、現代の表別を成って貼音は減く削減し、上して消失、ナンドパの数日等を調査と扱って貼音は減く削減し、上して消失、ナンドパの数日等を調査と扱って出音は減く削減し、上して消失。

- 名買共に旦頭連路の上に一一金なものは取替へさすとになつ

豫定より六百噸も多くて七千百四噸

豪華船は一層人氣を増す

づ各部出所環で普遍し各庫についの断穴が法に實心してゐるが、先

注文、特徴すると、もう一本掛つ 本と的核九四五度を持つて来いと 紀の男が来て、直ぐそこの二五番

地にみる者だが清酒(五合人)

ポンプの事なら何んで

77

行

京城・岡崎町6

闁

元雄性商権を与さん方へ甘五歳

八月午後六時五十分京城長恩 またも針り銭サキ

·原子は経務館 6億万、管内

事に備へて

鍾路界の注意

|五日アフト・ホームを済ました||稀れに見る大選維を呈した、同船||應任今後同船の線は列車である上||新紀元を題したものである。なほ

語程公部態集事徴をめぐつて、は一

教科書を贈る

のである、なほ同人は選子先の義

らまれ連行発に創行を自自したもけてゐるのに本町製成に不搬とに 新町科学で与分不相應の影歌を問

兄弟の光水三平と何つでまんまと

七、八の相目特後七時から京城府 年前部京城支部では本山侵域で十

に解小師堂で食事が法語智能を開

郷師は同門原事医治知一氏、

機器制は一目一個である

今後上下。のぞみ。に乘客が片寄らん

特に三輛増結して京城發車

死を受けた平北直流直部長長 非沿意で匪賊記伐中名響の職 村勢一、谷宮西郎、法弘一、

科を御下賜された

祭粢料御下賜

故平北道四巡查部長《

賊の決死隊を斃して國境を死守した

平北碧潼署魯章所員の光榮

では児童の麒麟者建一般忍不扱の一番レコードを作つた、龍岡小学校

四日午町二時貨

江省木開騒的近に

観死を登げた 電光放氏(石川縣出村)は名鑒の 造走せしめた、この罷職で歴長本於て叙五十名の瞭戦を攻撃、之を

西部部院は十二日午後三時百二省

く財団してみるが、城い見童の胸 一段範として読つた母校のなくなつ を打つたあの水事態をや今日まで

寄聞 をうけて毎日元は上

之を改進せしめたが、この職権に共和国近に於て聖城百名を攻撃、

富田軍曹戰死

おいて部隊長西海頭大氏(護門縣 『打撃さかり、遊院上の職職だけに 田身)は名響の職死を並げ、上等『京東子学学生』上で

惣路計隊の

長上間対な態氏は重因を行ふた

再選すっことが无典問題であると じてるたが、何よりも早く秋舎を

生れ京城黄金町三の三四四佐原方一助かる根様。駅作署で殿内調査の結

他人の名をかたつて 佐賀県 | のを家人が健康宇宙の結果生命に

|を発乳して大連に渡り放入物器を「中等線技へ行くとて六年的京城に志物だっ。) は明和四年春佐野鶴栗「米」郎小は稲里。映通線技を出て

派よ難様に約世二四回を投じて五

世に本年度に財源かないので

・ 金を励き八ヶ月の那を受け二年の一部を呼び内地に輝起りことでも問 りこみ朝々十波回饗業を雙へその熱行縮像となり昭和七年京城に入

飛星後へ継をおいたまくカフェー 東京以来。不良の仲間に投じ自動

の女話と家を構へてゐる事が兩親

かけた事から自良を全てたもの にばれ、競目的利型から表が押し

選展開校を見たいと質問では力ん

- バーその他の金品の統を聞き被

部五百回にのほり稼いだ悪銭で

十七、八日に

食養會開く

可愛い 內鮮融和

、本府に申請、認可を得決第、

間十数候の部盤を働き問題学校小

里の路程を僅々七時間で突破した

院居下、龍木部院の武品部隊は十二八九ピン十六日同盟」山間太部

殊動の武島部隊

山岡本部隊・下枝部隊の驍將

いその戦

櫻井佛の四氏に對して は人計儀は挫折し近走したが、

声者した時は態度飲はずでに便知 総報により召開本郷から歴授経が へ逃げたあとであった

正明九に接續する

一健に買けず一人の落伍者もなく一「「奈天十六日何盟」随節本部門観

(仁川電話) 可能い見歌が京仁十 元氣な一同

> 不蘭附近で 匪賊を撃滅

西澤部隊長戰死

表――岩永が怪縁の警路部隊は十一右撃闘で位長富田太郎氏(北海道)からずも天真爛漫な見董の可愛い 四日午前八時ごろ撫顧縣六區場を

際で見る二百の合業館と選択。選出まれば長は原死と共に直ちに軍際で見る二百の合業館と選択。選出まれば長は原死と共に直ちに軍 出り、は名響の羆死を挙げた、同

られ内部総和を實行で示し寄來へ

してある、京城府内十二段の内地 じめ一般文兄を認識せしめてゐるい教護の手は講話。故の兄弟達をは

習字筆一千本

「氣の遊なお友達を私達の力で

理で原科等の古い教科性や角彩、一と小道説の貯金を採出したり、地

てゐるが、本町二丁目清雅党主四

清雅堂が贈る

童には各方面からの同情が築まつ。

宮氏は、哲学華二千本を生徒に層

々泥棒行脚

小子 記販 生供 念賣

一番から、大化門通常停卸の金の方は電話では、大化門ビル第三號室

髓質

别拿贝

(長町雕)電話龍山1132 榮養だしの素質

维弼二手文文所 中川商店京城附近四年町一四二

あ

機 棫 部

年恩 金給 特別立替

友 商

性 名

として活躍、過転勝チフス 身)として活躍、過転勝チフス 身)として活躍、過転勝チフス

学(明大出

號旬中月_+

医型運動場で行れる著 一二中・井青訓査BB 京城三十七日年朝七時州分かる重開は十七日年朝七時州分かる重開は十七日年朝七時州分か

報雄冽郎

吟拜 家本木花•清



可消

に口角泡を飛ばし治難して來た 神作典を知れるで否で」を凝型 | 野三村||町生源に捻ち込んでもラ 臭る者々、見かちならぬ始末に 民、各町館で「一龍形落生職の も一何に帰除人夫か取りに来す 郵頭 問恩袋の緒を切つた住 秋の時動は万醇のうるで

一四京城自動車學校生徒既は祭君総の男服者。京城野帝町

大門署の寮覧郷田所は大正十四年(は郷疑も明れたらしいので悲扈を大門署の寮覧郷田所は大正十四年(は郷疑も明れたらしいので悲扈の総議で、願紹議で、既は代人として、「「重要場」が、「四日韓族された、氏は代人として

が起近、附近で重要な犯罪的難し 以来閉鎖、そのまゝとなつてみた

明一時景り

表び、かくして伸べられた可愛い

株式名義書換鑑 明 鮮 銀 行 ※ 京日案内

京本 は、まで田園選問出る場合本屋英雄田選動館 音本町1〇六 市本五二七一番 雄 村

몔

猫がニャンニャン鳴いたなら 鼠のお使 丁月の米羅(米貴ひに 久保田背二祠長合若芋腩 訪ねます。はじめてなので進が軸 ても即ける小咄ですが発頭として「難家族」は一つ一つきりはなし 明日待子外

してると叱るのを悩なく思つて 州道行

在原道行(急行)

短野口

| 華麗代船川帆廣告

登山石(金石)帰田夜年十二

京城南山校兒重

日本一のキピタンゴたべてまなん

京東部市

店商七源野天

等

(左の中御希望の品一點) 五〇〇名様

であては驚くなれないよ」と調へ

文字を入れると有名化粧品の左記文中の三つの〇に

名前になります。何でせう?

ーシャなどを超みかけつてゐます

受技に犯まった標本や、牡鹿主島 私は配削層を配験したことや私のコクデラといふのも滞山極れた、 餅の原について各方面から (二回

時 間

(1) 殺人千石船 1.08 1,15 科 (1) 殺人千石船 1.08 1,15 科 (2) 七 韓人 起 2,05 7,15 房大 (4) 明日ニース天成空間 11.30 4,18 9,23 年 (5) 嘆 き の 母 11,51 4,33 9,44 雑詞 (5) 座 治 明 (5) (6)

イド・ミル使用の 强力乳化装置コロ 超微粒子〇〇〇

神行

十一月十八日 十九日

十一月十八日 十一月土三日

> 御 應 募 Ø

1、接頭の答
1、接頭の答
2、この度由を超微になった新国名
2、この度由を超微になった新国名
2、この度由を超微になった新国名
2、この度由を超微になった新国のこの最近を定して、の 《寺でクリー4の外箱の窓面に(ヘチマコリンの外箱に入ったの質白を御覧になった繁図名(この質白を御覧になった繁図名)

一、 御飯家と同時に捕籃等及び棚路り祭司を開発して一、 御飯家と同時に捕籃等及び棚路り祭司を開発して「一、 御飯家と同時に捕籃等及び棚路り祭司を開発して「一、 御飯家と同時に捕籃等及び棚路り祭司を開発

方 法

191CD.K

ドイロコ置装化乳力强はムーリクマキへ

すでムーリク子粒微超の用使ルミ